東日本大震災復興支援プロジェクト
第 25 回活動報告

野菜小学校周辺の美化活動・東名地区夏祭り催事協力を行いました

ＪＡ鶴岡復興支援プロジェクトでは８月３日（土）、新採職員を中心に１３名で東松島市を訪ね、野菜小学校仮設校舎周辺の草むしり・草刈りを行ったほか、東名地区住民会主催の夏祭り催事協力を行いました。

町民約３００名が集まった夏祭り会場では、だだちゃ豆を無料で振るまった他、焼きそば焼きの手伝いなどを行い、町民と交流を図りました。

祭りは大変賑やかで、震災の影が見えないものでしたが、祭り会場の回りはまだまだ物理的、心理的な震災の爪あとが残っています。２日前にも、震災でお子さんを亡くした３０歳台の若い男性が亡くなられておりました。

復興支援活動の後、沿岸部で津波を受け１階部分が全壊した鳴瀬第二中学校舎跡と、町がまるごと壊滅状態と言える被害を受けた東名駅周辺を見学し、合同慰霊碑に合掌し帰途につきました。

●参加者（計１３名）

佐藤浩市（経理システム課）、小島康太（米穀畜産課）、須田朗弘（同上）、遠藤貴己（同上）、菅原純（園芸特産課）、福原英喜（農業支援室）、田中駿一郎（生産資材課）、安在祥子☒（同上）、星見英朝（生活課）伊藤伸和（農業機械課）白幡尚泰（自動車課）、柿崎惇平（同上）、阿部真（北支所）